

第2講義 人口推計からの政策立案・議会質問について

令和元年 11月 30日

依光晃一郎

1、人口推計がなぜ重要か。

- ほぼ確かな未来が見えるから。「政治は、未来を良くするもの」
- 過去の政治は、人口増加への対応
- 平成20年(2008)をピークに、人口減少。人口減少社会は、経済学の想定外。

2、高知県の人口推計

3、香美市の人口ビジョン

○全体像

2010年 28,766人 → 2060年 14,681人

(0~14才 1,043人 / 15= 1学年 70人

15~64才 7,324人 65才~ 1,985人)

○地域別

2010年 20,589人 → 2060年 14,005人(0~14才 1,505人)山田

2010年 5,177人 → 2060年 1,865人(0~14才 144人)香北

2010年 2,510人 → 2060年 367人(0~14才 12人)物部

4、人口減少で何が起こるか。→行政が司る全てのことに関係する +人口集中

- ・産業 →国内マーケットの縮小 労働者不足
- ・教育 →生徒の減少 学校の統廃合 部活の存続
- ・公共交通 →民間バスの撤退
- ・公共インフラ →市町村の水道事業

5、人口減少の負のスパイラルの克服

・2060年に55.7万人を維持したい(目標) 何もしなければ39万人

・若者の定着・増加 × 出生率の向上

(目標)2040年に1,000人の社会増 (目標)2040年に2.07

(現状)2018年、2,547人の社会減 (現状)2018年、1.48

6、政治家として、未来を変えるために、何ができるか？

- ・まずは厳しい現状を、正確に理解。
- ・議会質問を通じて、予算計上を目指す。根拠を明確に。

~~~~~

第4回 KOCHI 自民党政経塾

令和元年 12月 14日 14:00~15:30 自民党高知県連 3階会議室



本日の資料